



今月の題字

中村幸紀ちゃん
(轟木小5年)

町のあだこ

深澤さんが川柳遺句集を出版 亡き母が人生語る十七文字

飯岡の深澤茂男さん(60)が、一昨年9月に86歳で亡くなった母フヂエさんの川柳遺句集「母心」を自費出版しました。フヂエさんは夫の故正一さん(雅号・峽村)の影響で川柳を始め、県内各地の同人誌に投稿、深澤紫苑の雅号で県内柳人会に名を知られていました。遺句集はA5判、329頁、書題はフヂエさんの作品「果てるまで子に気を配る母心」から採り、昨年11月に300部作製。県内外から多くの反響があり200部増刷しました。遺句集を希望する方は深澤さん(☎82-3655)へお問い合わせください。



本町初、女性の青年農業士誕生 農村活性化目指し頑張ります

昨年12月21日、豊岡根の木村美由紀さん(30)が、本町で5人目、女性では初の県青年農業士に認定され、2月7日に盛岡市で行われた交付式で認定証書を受け取りました。青年農業士は、農業振興に意欲的に取り組んでいる青年に対して県が認定するもので、青年農業者のリーダー的役割を担っています。木村さんは「県内の農業者と交流する機会が増え、とても勉強になっています。地域の皆さんと町の農業が活性化するように、頑張りたいです」と意欲をのぞかせていました。

長崎の芳賀さん 町に100万円を寄付 教育振興にお役立てください

昨年12月に亡くなった前山田幼稚園園長の芳賀弘さんの夫人信子さん(長崎・77歳)が、町に100万円を寄付しました。1月30日、ご家族を代表して信子さんが役場を訪問。「故人は生前、山田町に大変お世話になりました。町の教育振興のために役立ててください」と沼崎喜一町長に寄付金を手渡しました。これに対し沼崎町長は「ありがとうございます。教育振興のため大切にに使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。

